

各位

平成23年10月11日

近畿日本ツーリスト株式会社
ブランド戦略室 広報 担当：立花
(TEL:03-3257-1661)

旅行取扱状況の概観（平成23年8月分）

海外旅行の取扱は団体旅行では、東日本大震災と節電要請の影響が継続しているが、8月に入り回復傾向が顕著になってきた。一般団体は前年比91.8%と前月より40ポイントと大幅に回復した。学生と合わせた団体計でも前年比94.4%となり回復基調が鮮明となってきた。企画旅行は円高等の効果もあり103.0%と前年を上回った。個人旅行も前年比109.0%と前年を上回り、その結果、海外旅行合計としては、前年比102.9%と半年ぶりに前年を上回った。

国内旅行の取扱は、一般団体が復興需要の取り込みや大型の宗教イベント（遠忌）等により比較的堅調に推移したが、学生団体は夏の修旅外の取扱が震災の影響で低迷し団体計で92.8%と前年を下回った。企画旅行は回復基調が続き、前年比91.7%と前月より3ポイントほど回復した。個人旅行も前月より14ポイントと大幅に回復し97.8%であった。その結果、国内旅行合計としては前月より3ポイントほど回復し、前年比92.9%であった。

外国人旅行は、引き続き震災よりも原発事故の影響が甚大で、訪日団体のほとんどが取消になっていたが、少しずつではあるが回復傾向が見受けられるようになったが、前年比33.8%とふるわなかった。

結果、8月の総取扱額は、前月よりも6.5ポイント回復し前年比95.4%の結果であった。

※ 月次取扱額は、KNTとKNT北海道、KNT九州の合算額となります。

以上